

プログラミングはもう古い？

システム開発を支える キーワード「ローコード」とは



ローコード：Low-Codeとは？

ローコード開発とは、アイテムのドラッグ＆ドロップといった画面上での直感的な操作やボタン操作など設定による開発を基本とした手法です。システム構築初心者でもプログラミング知識不要で開発を始めることができます。将来的に画面操作以外で実現したいことが発生した場合には、プログラムを使った開発による対応が可能です。

ローコード開発のメリット

- 開発の高速化、短縮化
- コスト削減
- 人為的なコーディングミスの最小化
- 引き継ぎ、保守性の向上
- 他システムとの連携といった拡張性

他開発手法との違いは

ノーコード	ローコード	プロコード
プログラミング知識が全くなくとも画面での操作のみで開発が完結するスピーディな開発の一方、実現できる機能は少ない。	画面での操作を基本とした開発だが、必要に応じてコードによる開発を追加することができるスピード開発と柔軟性を兼ね備えている。	プログラミング知識が必須であり、画面のズレを直すだけでもコードを修正する必要があるが、0から自由な設計・開発が実現できる。
開発スピード		
早	中	遅
開発自由度		
低	中	高

かつてのシステム開発

各作業の工程を順番にこなしていくウォーターフォール型の開発が主流
品質の高さとスケジュール管理がメリット



ウォーターフォール型開発のデメリット

プロジェクト開始からリリースまで 長期間化する場合がある

システム規模が大きくなるにつれて、要件定義からリリースまで数ヶ月～数年程度と、かなりの時間を要し、完成時には古いシステムになる場合がある。

前フェーズを覆す機能追加 仕様変更が難しい

ウォーターフォール型開発は前フェーズで確定した仕様・機能を前提に後続のフェーズを遂行するため、確定した仕様を追加、変更する場合は影響範囲が大きくなり、大きな手戻りが発生する。

後工程で問題が出たときに リカバリーが難しい

プロジェクトの最後でテストを行うため、不具合が発生したり要件が不足していることが発覚すると、システムリリース期日までのリカバリーが難しい。

近年の開発手法

これから有効な開発手法は？

システム全体が完成してからリリースするのではなく、細かい機能単位を数週間程度の短い期間でリリースすることで、要望の取り込みスピードを高め、素早いシステム効果を実現する”アジャイル開発”に注目が集まっています。

アジャイル型開発のデメリット

当初の想定と異なるシステムが出来上がる可能性がある

リリースごとに要件を追加していくため、当初の計画から成果物がズレていくことがある。最終的な成果物が本質的に求めていたものであれば問題無い。

品質が低くなる場合がある

短期間でのリリースを優先し、多少の不具合は目をつぶるなど品質は二の次とする場合がある。ステークホルダーでその認識が合致していれば問題無い。

スケジュールが読みきれず遅延する場合がある

アジャイル開発では綿密な工数見積をしないことが多く、対応する要件の規模が想定よりも大きかった場合、開発期間内に完了しない場合がある。

高いスキルを持ったエンジニアが必要になる

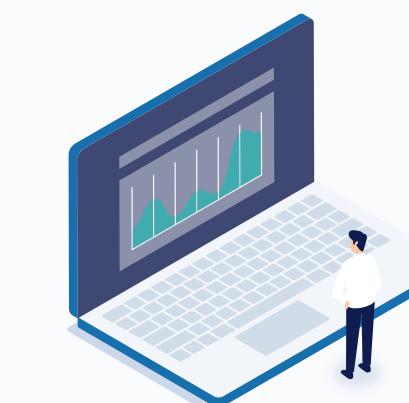
短期間で高品質の開発を実現するために高い開発スキルが必要になるため、単価の高いエンジニアを採用したり高額な費用をITベンダーに支払う必要がある。

ウォータフォール開発と比較するとアジャイル開発が有利に見えますが、それでも新規構築や改修の際にはITベンダーなどに要望を伝えて開発を依頼する必要があります。低成本で臨むシステムを素早く構築し、さらに追加要件・要望をすぐに取り込むためにはローコード開発が有効です。



ローコード開発

より短期間での開発はもちろん、高い品質と素早い要望の取り込みを実現できる



近年の開発手法

短期間でのリリースでいち早くシステムの効果を得ることを目指す



これまでの開発手法

要件定義からリリースまで期間をかけしっかりとしたシステムを作る

ローコード開発ツールの選び方

3つの開発手法があることをご紹介しましたが、各開発手法ごとにツールを選択するのではなく、複数の手法をカバーするような製品を選ぶ必要があります。



- ローコード開発ツールでカバーしたい範囲 -

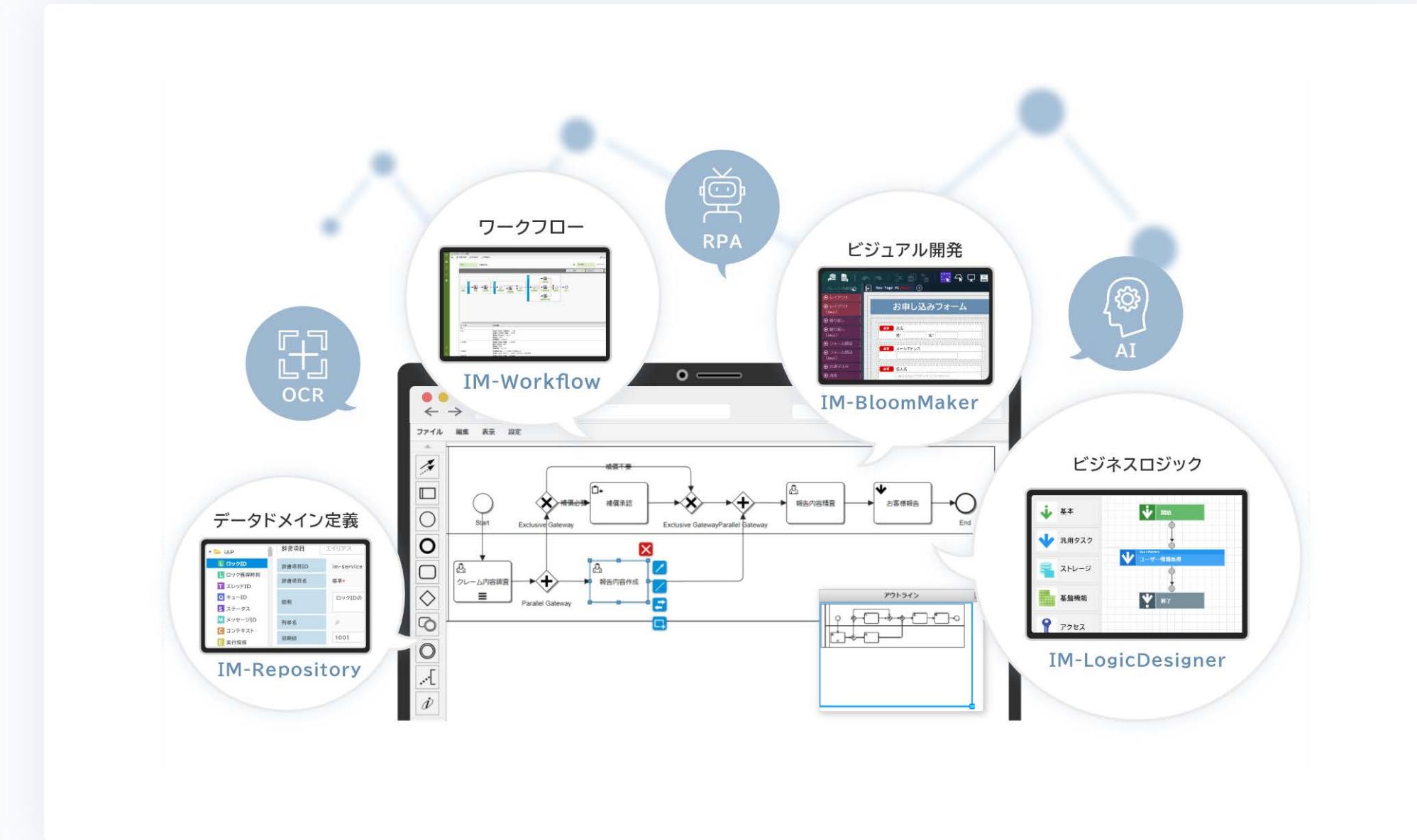
現場部門で開発できるからと安易にノーコード開発ツールを導入すれば、将来発生する高度な開発に対応しきれません。プログラミング知識の習得には時間を要し、開発する際のコストも高くなります。ノンコーディングのアジャイル開発から本格的なプログラミングが必要な開発まで、各社のニーズに応じた開発手法を選択することが重要です。

サービス概要

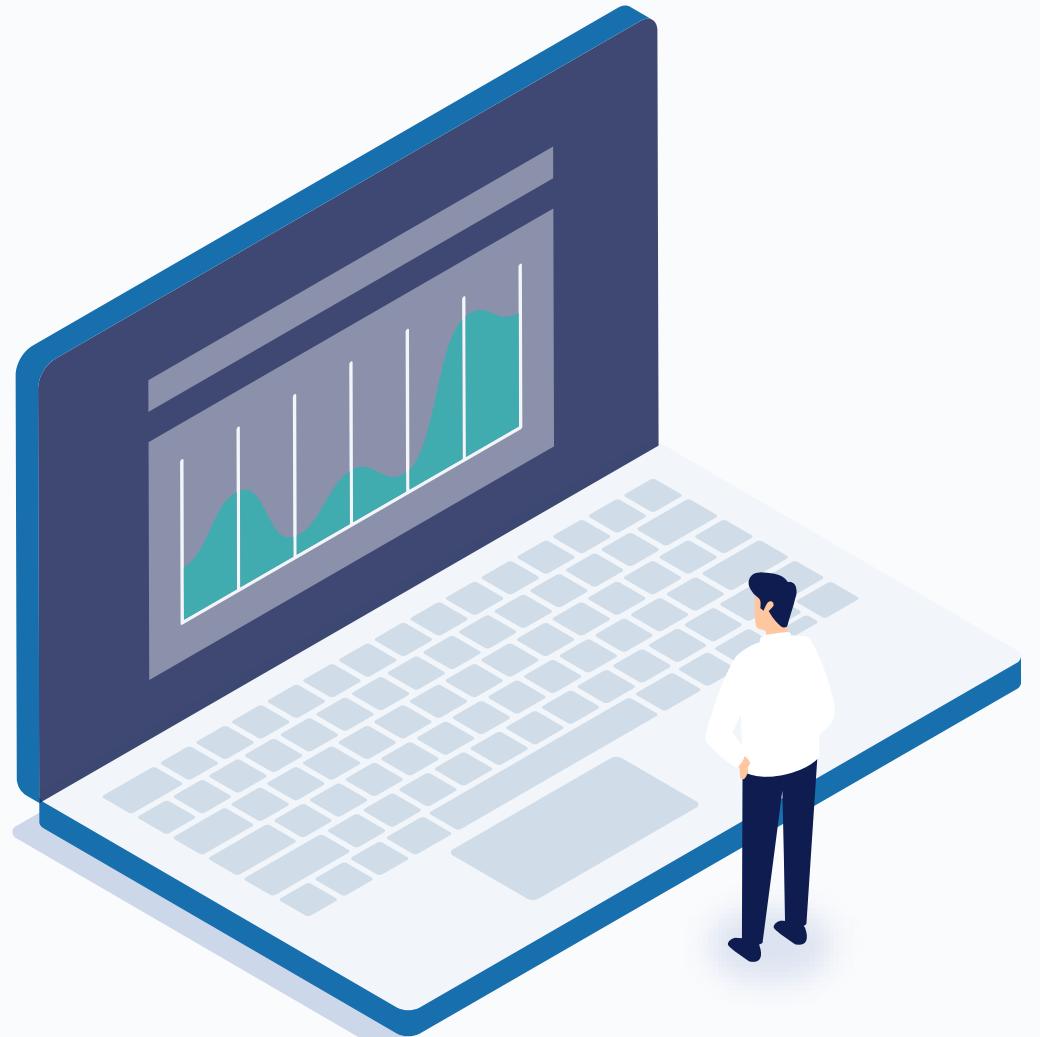
intra-martが提供するクラウドサービス「Accel-Mart」は、ノーコードからローコードまでをカバーするエントリー向けの"Quick"と、ノーコードからプロコードまで幅広くカバーする"Plus"の2つの製品を提供しています。さらにQuickからPlusへの移行パスも用意しているため長きに渡って利用可能な開発ツールとして有力な選択肢となります。

Accel-Martとは

Accel-Martは、プログラミング初心者から上級者まで、業務用アプリを開発できるプライベートクラウドサービスです。プログラミングの知識がなくても簡単に業務用アプリを開発できる「Quick（クイック）」と、プログラミング知識のある方向けに業務用アプリに必要な開発環境を充実させた「Plus（プラス）」の2種類をご用意しています。



プロレベルの業務アプリケーションを簡単に構築



すぐに始められる

事前に構築されたテンプレート、ドラッグ＆ドロップでの簡単操作、すばやいデプロイ機能を使用して、今すぐアプリケーションを構築できます。Accel-Mart Quickはお申込みから最短30分でご利用可能です。

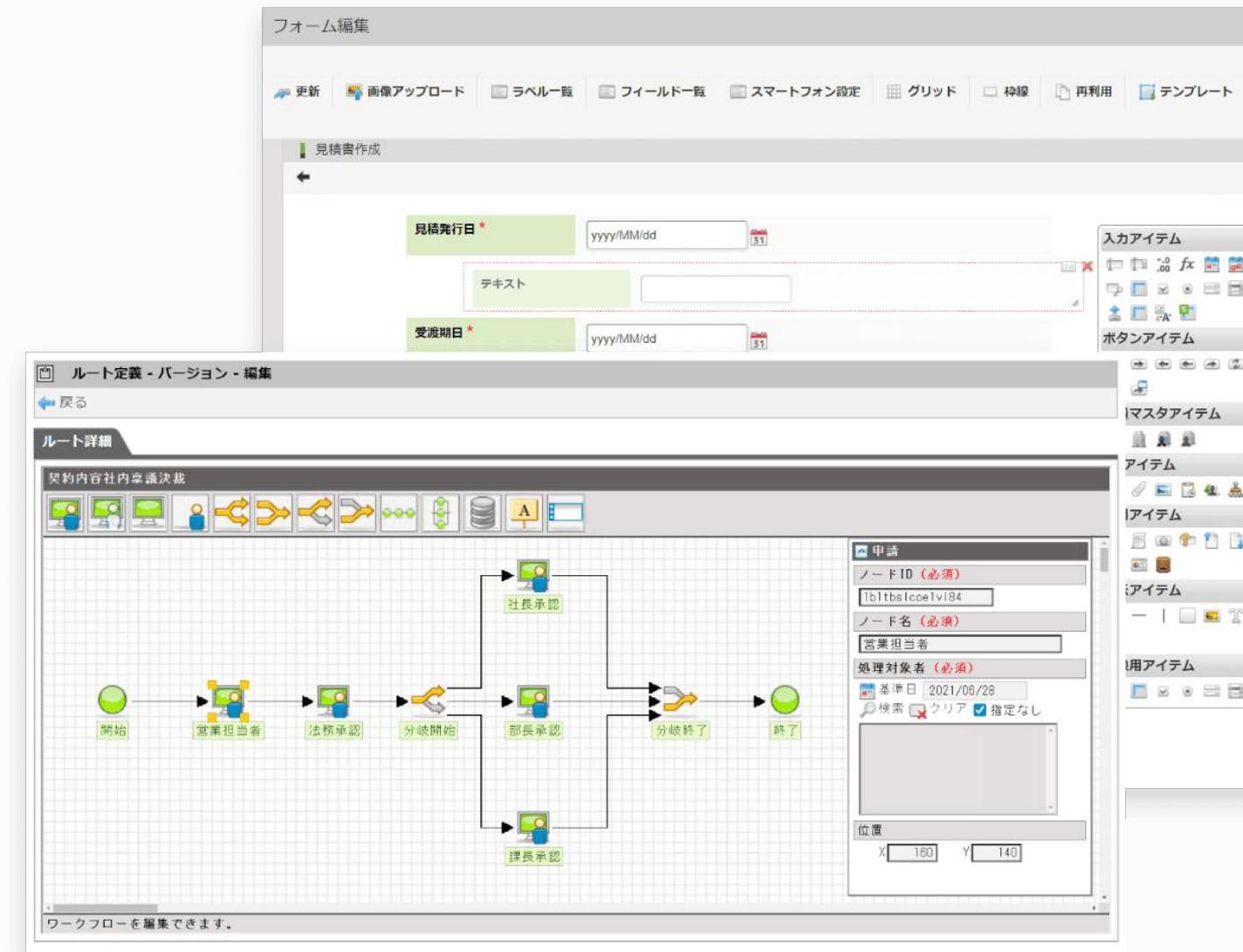
アプリを構築する

intra-martのローコード開発を利用して、お客様の業務に合わせた適切なトレーニングにより、現在の業務部門担当者をシステムに精通した専門家に変えることができます。事前に構築されたUIコンポーネントや業務ロジックなど、以前は開発担当者しか活用できなかった高度な機能も利用できます。

開発者による拡張

簡易なフォーム画面から複雑な業務画面まで、プログラミング知識がない方でも開発可能です。intra-martのローコード開発機能ではドラッグ＆ドロップなどの操作で簡単にシステムを構築可能で、業務の変化にも柔軟に対応することができます。

様々な業務パターンをカバーするワークフロー



多彩なテンプレート

様々な用途に合わせた業界・業種別のワークフローテンプレートを100種類以上ご用意しています。テンプレート以外にも、自社にあった申請・承認画面をノンプログラミングでドラッグ&ドロップで簡単に作成することもできます。

複雑な承認ルートを簡単実現

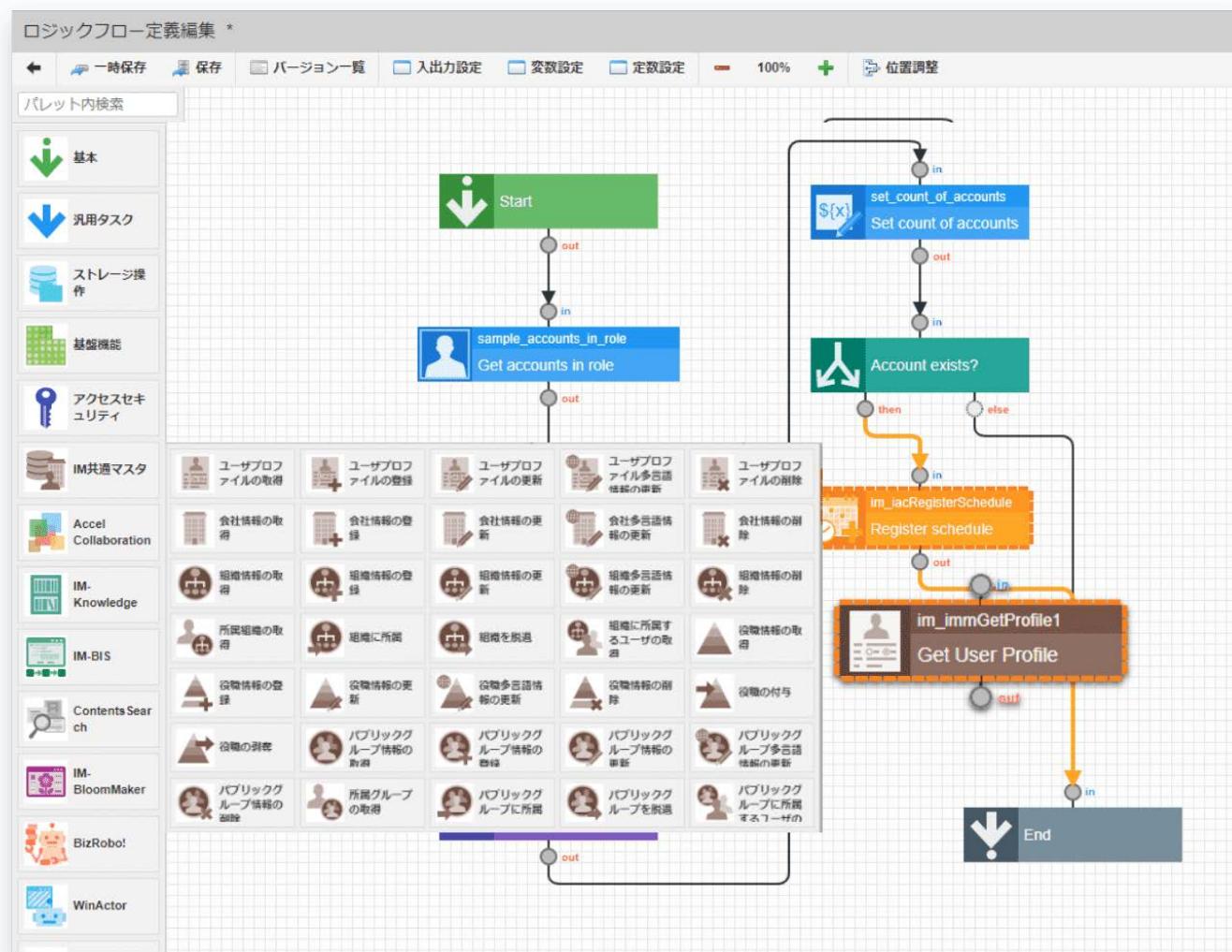
簡易なワークフロー機能を搭載したプラットフォームはもちろん、他のワークフローシステムでもここまで の自由度はありません。複数部門による申請・承認や条件分岐から別のワークフローへの連携まで、複雑な申請・決裁などの承認ルートも簡単に実現できます。

柔軟につながる、システム連携

柔軟につながる、システム連携

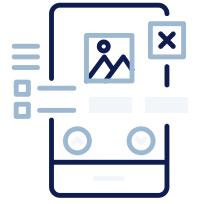
業務プロセスの中には、人や紙によるアナログ作業や複雑な処理も混在しています。イントラマートには、これらの処理を円滑に行うための、AI・RPAなどのデジタル技術や様々な既存システムや他システムと連携を可能とするコンポーネントを準備しています。

取引先を含めた、複雑なオペレーションもシームレスにこなすことができます。

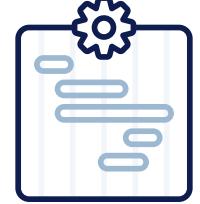


機能一覧

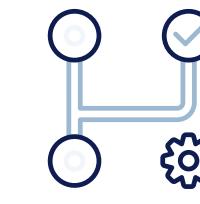
Accel-Martには、豊富な機能が充実。
ローコード開発、BPM/ワークフローなど業務アプリに欠かせない機能をお使いいただけます。



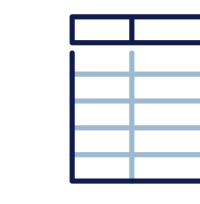
ローコード開発



ワークフロー



BPM



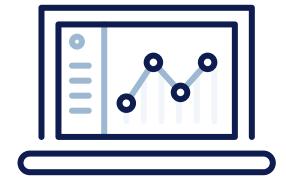
スプレッドシート



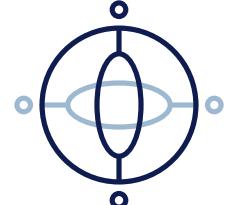
チュートリアル



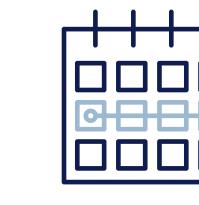
業務テンプレート



社内ポータル



Wiki



スケジュール



会議室予約



社内SNS



他システム連携

インフォメーション

認証・認可

マスタ管理

ドキュメント管理

全文検索

表・グラフ自動作成

人数規模・使用用途で選べる2プラン

利用いただく人数規模や使用したい項目数に応じて柔軟に対応できるように2つのプランを用意しています。



Accel-Mart Quick

Accel-Mart Quickは少数規模からご利用いただけるエントリープランです。申し込みから最短30分で導入可能です。プログラミング初心者でも安心してご利用いただけます。

こんな方にオススメです

- 業務用アプリをコストを抑えて開発したい
- 業務プロセスのデジタル化・自動化を実現したい
- なるべく早く業務用アプリを開発したい



Accel-Mart Plus

Accel-Mart Plusは全社規模向けに推奨するプランです。クラウド上で本格的に開発することができます。

こんな方にオススメです

- 全社規模で本格的に業務システムを開発・利用したい
- システム構築にかかっていた時間/コストをカットしたい
- 全社レベルでの大規模な業務改善から改革をしたい

料金・プランの詳細は下記をご参照ください。

<https://www.accel-mart.com/price.html>

Accel-Mart Quick 導入の流れ

- 01 試用
31日間すべての機能を無料でお試しいただけます。
- 02 本登録
トライアル版終了後、本登録が完了すると有償でのご利用開始となります。
- 03 開通
トライアル版のデータを引き継ぐことも、新規で環境を用意することもできます。
- 04 運用拡大
サービス導入効果を最大化し、成功に導くためのカスタマーサクセスをご用意しています。

31日間の無料お試し実施中

https://admin.quick.accel-mart.com/imart/accel_mart_quick_admin/entry

Accel-Mart Plus 導入の流れ

- 01 お問い合わせ
まずはお気軽にお問い合わせください。お客様の課題をヒアリングさせていただきます。
- 02 お見積り・ご発注
担当営業よりお客様にあったプランをご紹介させていただきます。
- 03 利用開始
お申し込み日より最短5営業日で、すぐに使える環境をご提供します。
- 04 お支払い・お振り込み
月額支払と開始月一括払いのどちらかを選択していただきます。

お気軽にお問い合わせください！

<https://www.accel-mart.com/contact/>



まずはお気軽にお問い合わせください。

弊社担当がお客様にあったプランをご紹介させていただきます。

<https://www.accel-mart.com/contact/>

31日間の無料お試し実施中

https://admin.quick.accel-mart.com/imart/accel_mart_quick_admin/entry